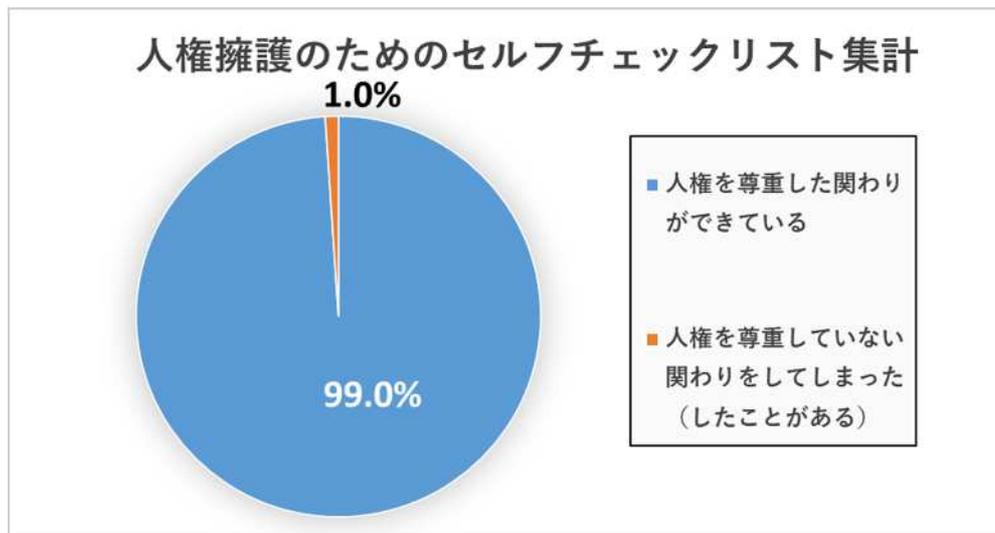


美好保育所 人権擁護のためのセルフチェックリストの実施結果（令和6年度6月実施）
全国保育士会が作成した「保育所・認定こども園における人権擁護のためのセルフチェックリスト
～「子どもを尊重する保育」のために～」を使用しました。



全設問に対して 99.0%が望ましい対応をしていることが分かりました。1.0%の望ましくない対応は主に次の3項目に見られました。

・自分から訴えてトイレに行くことができるようになった子どもに対して、「おしっこ出ない」と訴えていても、トイレに行くように促す。

上記の項目につきましては、子どもが意思表示している気持ちを大切にしていますが、散歩やプールなど時間の予測が難しい活動に対しては、先の見通しとトイレに行ってほしい旨を伝えることがあると職員間で意見を交わしました。子どもから訴えがあった場合には気持ちを尊重するようにし、排せつの失敗があったときには子どもの気持ちに配慮し、丁寧に対応していく大切さを職員間で共有しました。

・いつまでも泣いている男の子に、「男の子だからいつまでも泣かない」や、乱暴な言葉使いをする女の子に「女の子だからそんな言葉を使ったらいけない」と注意する。

上記の項目につきましては、性別を理由に子どもの行動の是非を問うことはないものの、色や数、物の名称と同じように身近で聞きなじみのあることとして子どもに性別を質問することがあると職員の中で意見を交わしました。自然な会話の中から出てくる子どもの気持ちを大切に、保育者が性別を強調しないこと、固定観念にとらわれず柔軟な思考を持つようにしていくことを職員間で確認しました。

・寝かしつける際に、いつも同じ子どものそばにばかりつく。

上記の項目につきましては、子どものその日の体調や生活リズムなどを考慮し個別配慮として行う現状があります。その日その時の個々の思いを尊重し、気持ちに寄り添いながら安心して生活できる環境を作るために、やり取りを重ねていくことが大切であると職員間で話し合いました。